

ヒアリング資料③

26.10.22

中央社会保険医療協議会総会 意見陳述資料

再生医療等製品保険適用への提案

2014年10月22日

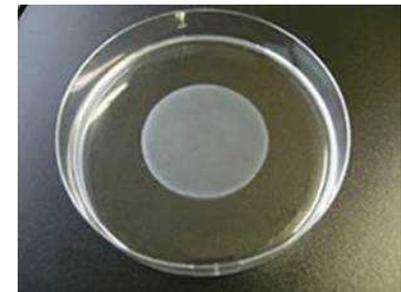
(一社)日本医療機器産業連合会
会長 中尾 浩治

再生医療を日本から発信する

- 日本が世界をリードできる分野
(iPS細胞の発見、ノーベル賞)
- 日本の医療が世界の患者を助ける
- 日本発、世界初の治療技術が生まれつつある
 - 日本の医療技術の先進性が革新を起こしている

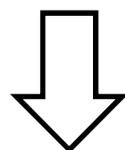
再生医療等製品の現状

- 医療機器区分で2品目が承認・保険収載
 - JACE(自家培養表皮): 開発者J-TEC
 - JACC(自家培養軟骨): //
- 心筋用細胞シートを開発
 - 開発に成功: 大阪大学 澤先生
 - 製品化への治験を終了: テルモ



再生医療に関する現状認識

- 実用化の離陸期
- 安全を前提に前に進めることが大切
- 企業も継続した開発努力を行う



日本の医療を世界へ

最後に

- 国民が再生医療等製品の医療革新を享受できるように、条件付き承認後、保険適用をお願いしたい

- 再生医療等製品の特性を考慮した新たな算定ルールが必要
 - － 算定にあたり、以下について考慮をお願いしたい
 - 開発費の回収や開発投資が可能となる算定
 - 市販後レジストリーに関わる費用
 - 長期細胞保存、未使用品に関わる費用
 - － 中長期的展望で議論すべき
 - 日本発の再生医療は海外展開が期待できる
 - 当面の保険適用に関しては、薬価・材料価格算定をベースに、再生医療等製品の特性を踏まえて価格設定をお願いしたい

- 議論にあたっては、業界代表の参加をお願いしたい